

R18

ピクッ

エリスと……ルーク？
二人とも
なに……なんで？

はいっ♡
いつでも♡

ルークの『
あんなに……
おつきら……』

夜遅く
アスラ王国へ向かう道中
シルフィは森の奥から
聞こえてくる声で目を覚ました

ああ

あーん

あーん

あっ♡ んっ♡ あっ♡
はあっ♡ はいっ♡
わたしはあ♡モノ
ご主人様の所有物ですう♡

ピクッ

第2ラウンドいくぞ
準備はいいな？

はいっ♡
いつでもっ♡

ぬぽっ

エリスと……ルーク？
二人とも
なに……なんで？

ドン

エリスが浮気……？
ルディを裏切るなんて
そんなこと……

ドン

ルークの『アム』
あんなに……
おっぴろげるの……

でも……

くちゅ

それから数日
毎夜逢瀬を繰り返す二人を
シルフィは尾行し続けた

ルークに支配されるエリスは
見たこともないくらい幸せそうで
当初こそ諫めるつもりだったシルフィも
その姿に羨望すら覚えて
毎夜自らを慰めていた

おはよう
シルフィ

ルーク
話があるんだ

その夜に……
エリスと……
あんなこと
彼女もルディの
妻なんだよ？

なんだそのことか
まあ落ち着けよ
別に無理矢理って
わけじゃないぜ？
彼女が君の
夫の粗チンじゃ
満足できないって
せがんでくるからさ

それにだ
君もあの粗チン野郎じゃ
満足できてないんだろ？
エリスが言ってたよ

わ私は……

お願い……ルーク
私も……
エリスみたいに……

私の胸は……
ルークの好みみたいに
おつきくないけど……
私も……試してみたいの
私たち……友達でしょ？

おいおい
馬鹿を言うなよ
お前の小さな胸じゃあ
興奮なんてできないね

アリエル様の手前
友達……こっ……を
しているだけで
貴族の俺やエリスと
庶民のお前が
友達だなんて
思い上がるなよ

そんな……
でも……
私がルディに
全部話すって
言ったら？

ほう……何を話す
つもりだ？
粗チンに満足
できないエリスが
毎晩俺に抱かれに
きてることか？

それともシルフィ
君が俺のチンポ
が欲しくて
おねだりしたけど
貧乳だからもらえ
なかったって？

そっ……
それは……

なあシルフィ見ろよ
君の無様なアピールで
少し興奮したみたいだ

エリスとしてたとき
ほどじゃないけど
ルディのより……
断然……

なんなんでもする
だから……
ルーク……

なんでもか
じゃあ四つん這い
になって
メス犬らしく
吠えてみせろ

お願い……しますっ♡
このメス犬エルフにっ♡
ルーク様のデカチンを
お恵みくださいっ♡
わんわんっ♡

わっわんっ♡
わんわんっ♡
くうーん♡

エリスのおねだりを見
覚えたか？
毎晩覗いてマンズリ
こいてたんだろ？

こっちを見て
口を開けろ
シルフィ
メス犬

ありがとう
ございます♡
ルーク様♡



さすがが呑み込みの
良さは一流だな
褒美だ庶民
一滴残らず受け取れっ！

今日は
ここまでだ

ビクッ

えっ……そんなっ
だってエリス
にはいつも
何回もっ……

思い上がるなよ庶民
君……お前は道具だ
俺がアリエル様から
さらなる寵愛を
受けるためのな

アリエル様は
ショーを好まれる
お前のショーならさぞ
喜ばれるだろうさ

それが
できるっていうなら
おかしくなるまで
抱いてやる
どうだ？

わかつ……わかりました
でも……ルディに
だけは秘密にして
それ以外なら……
なんでもするから……

ビクッ♡

ビクッ♡

驚いたわ



ルークったら
シルフィを首輪で
繋ぎ止めたいと言ったのは
冗談だったのに
まさか本当にやるなんて
素敵なプレゼントですね

ワッ

気に入っていただけで
なによりです
けどまだまだですよ
シルフィやれ

ワッ

私は下賤な庶民ですっ♡
高貴な方々に
ご奉仕することが
私の使命です♡
わんわんっ♡

あらあら
あのシルフィエットが
こんな風に
なっちゃうなんて
さすがですねルーク

フーッ
フーッ

さあアリエル様
ショーをお楽しみください
この庶民に身の程を
示してみせましょう

ふふふっ
楽しみね

ポッ
ポッ
ポッ
ポッ

いいかメス犬
お前はこれから
俺たちの性奴隷だ

あっ♡ ああっ♡
貴族おちんぽっ♡
ありがとうございますっ♡
ルーク様あっ♡

はひっ♡
はいっ♡



